

配置業界の「ドン」塩井保彦氏 全配協会長職は来年改選まで続投 富士薬品3月期決算 連結売上3,715億円、税引前利益赤字に 「配置薬の日」の8月1日に各地で献血協力事業実施 (一社)日本置き薬協会

●配置業界紙「薬日新聞」7月17日号を転載

配置業界の「ドン」塩井保彦氏 全配協会長職は来年改選まで続投

(一社)全国配置薬協会(全配協)の定時社員総会は7月14日午後3時から岐阜市長良の岐阜グランドホテルで開かれた。本年度は役員改選期ではなかったものの、塩井保彦会長の去就が注目された(編集注 株廣貫堂の不正医薬品製造の責任問題に関係して)。出席者から会長人事に関する質問など一切なく、来年改選期までの続投が決まった。

全配協には配置販売業者による配置部会と、製薬メーカーが部会員の製薬部会があり、製薬部会は、既に塩井氏の来年任期満了までの続投が適当としていた。

配置部会としては「製薬部会で出された最終結論に異議を唱えるつもりはない」としながらも、「塩井会長が続投する場合は、以下の二点を必ず実現して頂きたい」との意向まとめた。

1. 全力で厚労省と交渉して配置固有の処方を守って頂きたい
2. 一般用医薬品販売制度の事実上の自由化に対して全配協として絶対反対を厚労省に訴えて頂き、検討委員会での発言のチャンスを必ず作って頂きたい。配置薬業界が不利になる状況を回避する為にも、検討委員会の参加は不可欠。

●配置業界紙「家庭薬新聞」7月15日号を転載

富士薬品3月期決算 連結売上 3,715 億円(前年度比 4.7%減)

配置販売業界最大手の(株)富士薬品(本社・埼玉県さいたま市、高柳昌幸社長)の令和4年3月期決算は、グループ全体の連結売上が前年度比4.7%減の3,715億4,700万円、経常利益が同39%減の33億4,100万円となる減収減益となった。

部門	売上額	前年度比	備考	利益額
配置販売事業	206億5,300万円	11.7%減	285営業所	1億8,200万円
ドラッグストア事業	3,399億1,500万円	4.2%減	1,372店舗	86億5,000万円
生産事業	159億9,300万円	9.0%減	注射剤等	5億5,100万円
医薬事業	34億円	12.5%増	新薬開発等	△2億2,400万円

*従業員数 19,733名(正社員以外も含む)

配置販売事業では、新型コロナウイルス感染症予防策として外出制限、マスク着用、アルコール消毒等が浸透した結果、風邪薬等の医薬品の売上が減少した。

一方、同期からスタートした健康食品の定期購読サービスは、利用顧客が全国8万9,275軒に拡大。同サービスは顧客の希望する健康食品を定期的に一定数量、宅配便で届けるもので、同社では「現状では売上増加につながっていないものの、営業担当従業員が商品説明に注力できるようになり、安定的な売上を維持する基盤づくりをすることができた」としている。

(編集注) なお同社発表の連結損益では、経常利益が33億41百万円、特別利益3億9千万円、特別損失58億56百万円で、税引前損失は21億24百万円。

「配置薬の日 8月1日」前後に各地で献血事業

都道府県所在の配置販売事業者による協会、協議会は8月1日の「配置の日」の日に因み、組織ぐるみで献血事業に毎年協力されている。下記はその結果の一部。

7月31日 長野県医薬品配置協議会(ベイシア東御店)、神奈川県配置協会(1.相鉄ジョイナス前 2.本厚木駅北口前 3.横須賀中央駅東口前 4.小田原ダイナシティ前) 8月1日 東京都医薬品配置協会(新宿東口献血ルーム) 岐阜県医薬品配置協会(7/17東濃 7/24岐阜 7/31中濃 8/7飛騨 8/21西濃、5年1/22岐阜 1/29東濃 2/5中濃 2/26西濃)